令和３年度　学校教育自己診断　分析

＜生徒の結果分析＞

【学習・進路指導等】

・「授業はわかりやすい」の肯定率が年々上昇して76.4%となった。授業研究週間の取組みやChromebookの導入、授業アンケートの振り返り等があり、学校全体として授業力向上の意識が今まで以上に醸成された結果と受け止めている。

・「自分の意見を発表する機会がある」も年々上昇し、81.0%となった。学校全体が「トライandアウトプット」をスローガンに取り組んでいることが結果につながっている。特に3年間を見通した計画を立てて進めている「総合的な探究の時間」では、調査したことをまとめ、発表する取り組みを各学年で展開している。

・「HRなどで役立つ進路情報が提供されている」についての肯定率も88.5%→89.3%→92.2%とさらに上昇した。共通テストが始まり、激変する今後の大学入試についてタイムリーな情報提供を今後も続けていく必要がある。

【生活指導等】

・「相談に親身になって聞いてくれる先生がいる」の肯定率が71.6%→73.8%、教員向けのアンケート「相談体制が整備され、学級担任以外にも相談できる」でも94.2%→95.6%と微増している。教員全体で一人一人の生徒に寄り添う意識が高まっていると思われる。

・「部活動に積極的に取り組んでいる」76.8%→80.5%、「授業や生徒会活動・部活動を通じて成長している」80.5%→84.2%と伸びており、制限がある中でも効率的な練習を積み満足度が増しているのではないかと考えている。実際、運動部では大阪大会、近畿大会などへの進出、文化部でも地域貢献の機会が減る中、様々な工夫をして活動を継続している。

・「人権の大切さを学ぶ機会がある」では82.6%→75.8%→77.0%と概ね横ばいだった。講演会の実施や人権だよりの発行を継続し、あらゆる教育活動を通してすべての生徒の人権が保障された学校であり続けたい。

【学校行事等】

・「学校へ行くのが楽しい」では 82.7%→ 82.9%→80.9%と少しダウンした。多くの行事が順延、中止になった現在のコロナ下では評価できる範囲と考える。文化祭は中止となったが、文化系クラブの発表の場を確保したり、体育祭も時期をずらし形態を替えてできる範囲で行ったことが数字に表れているのではないかと考える。

・「文化祭や体育大会は活発で楽しい」では 86.6%→83.0%→70.1%と大きく下がった。上述のように文化祭は中止となり、体育祭も直前で順延、応援披露の形態もこれまでのものから変更したことが影響していると思われる。

＜保護者の結果分析＞

・「子どもは、授業が分かりやすいと言っている」の肯定率は 58.2%→59.3%→61.3%と微増した。学校生活の中心である授業での満足度を高められるように引き続き努力を重ねます。

・「学校は進路決定のための適切な指導をしている」では 75.2%→74.9%→75.3%と横ばいでした。こちらも学校の取組みを保護者の方へ伝える努力にも力を入れることで、今まで以上にご理解をいただける努力をします。

・「子どもは、部活動を通じて人間的に成長している」では 73.7%→77.7%→80.3%と微増しています。コロナ下で制約が多い状況ですが、この肯定率の上昇はうれしい限りです。

・「学校のメールマガジンを利用している」では、86.3%→87.8%→87.4%と横ばいの結果でした。週末の定期連絡以外にも緊急時の連絡をする場合がありますので、引き続きの利用をお願いします。

＜教員の結果分析＞

・「校長は理念や明確な考えを持っている」が 72.2%→ 67.6%→71.1%と概ね横ばいだったのに対して、「学校運営に教職員の意見が反映されている」が 50.0%→44.1%→62.2% と大きく伸びた。授業や校内人事などについて意図的に対話の時間を取るなど、丁寧に意見を吸い上げた学校運営に努めた結果と推察しています。

・「教員間で授業方法等の検討する機会を持っている」81.5%→ 64.7%→80.0% と持ち直した結果がでた。新しく導入された観点別評価や、一人一台端末の使い方などについて各教科で入念な打ち合わせが必要な状況であった。引き続き、学び続ける教職員集団であるよう研修等の機会も充実させます。

・「いろいろな分野で教職員とＰＴＡとの連携が図れている」でも 70.4%→61.8%→77.8%と持ち直した結果でした。コロナの影響で保護者の来校が制限されている状況ですが、これからも保護者の皆さんの理解を得ながら教育活動を進めて参ります。